

プランの名称 (25 字以内)				
プラン対象地、面積、工期、担保性				
種別 (該当に○)	集合住宅施設	保育園・幼稚園 ・各種学校	商店街	公園
	道路・沿道	河川	駅構内・駅前広場	病院
	公共施設 (役所・文化施設等)	公開空地	福祉施設	その他 ()
所在地(住所) 〒			施設名 (フリガナ)	
施設所有者名または管理者名 (フリガナ)			代表者役職 氏名 (フリガナ) (※団体・法人の場合)	
所有者または管理者所在地(住所) 〒			担当部署名	
TEL : FAX :			役職名・氏名 (フリガナ) ※ご照会させて頂く場合がございます。	
E-mail:				
所有者同意書 等の有無	(応募に際しての同意、緑化工事及び完成した緑地の維持 (最低5年間)に関する同意) <input type="checkbox"/> 有 り (※同意書等を添付願います) <input type="checkbox"/> 無 し (※同意の見通し記入)			
【同意の見通し】				
プランの面積 (㎡)	_____ ㎡ ※プラン対象外の緑地を整備する場合の全体面積 _____ ㎡			
予 定 工 期	緑化助成対象工事 西暦 _____ 年 _____ 月 完成見込み			
永続的な土地の使用及び 維持管理に関する見込み ※最低5年間				

緑化プランの目的と概要（200字以内）

プラン対象地の
現況と課題
および
周辺地域の特性

審査のポイント

（重点項目：環境への寄与）

（重点項目：地域との関わり方＜地域住民・子ども達の参加・交流、情操教育の取組等＞）

（公開性）

維持管理計画
維持管理体制(応募者・所有者・施設管理者の関係を含め、維持管理体制の概略をご記入ください)
維持管理協力団体 (応募者・所有者・施設管理者以外で維持管理に協力する団体がある場合はご記入ください)
維持管理協力団体名 ※社格を含めた正式名称を記入 (フリガナ)
所在地(住所) 〒 TEL : FAX : E-mail :
【維持管理方法】

【 注 意 】

- ※ 協力団体等については、反社会的勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約いただきます。

応募資料チェックシート

応募団体名	フリガナ： _____
応募プランの名称	フリガナ： _____

応募資料にこのチェックリストを添えてご送付ください。なお、書類不備の場合、選考から除外されることがありますので注意してください。

にレ印をしてください

<input type="checkbox"/>	①応募用紙（所定の応募用紙 1～5 ページ）※必須
<input type="checkbox"/>	②添付資料 1.応募対象地の状況（A3 カラーの任意の書式）※必須 周辺の状況および土地の形状がわかる地図上に、応募場所（区域）を記載し、その現況写真を撮影方向がわかるように貼り付けて下さい。
<input type="checkbox"/>	③添付資料 2.イメージスケッチ（A3 カラーの任意の書式）※必須 完成イメージを伝える彩色されたスケッチ等を添付して下さい。 （スケッチは実現可能な内容で描写して下さい）
<input type="checkbox"/>	④推薦書（公的な機関からの推薦がある場合のみ）（任意の書式）
<input type="checkbox"/>	⑤土地所有者の同意書（既に土地所有者からの同意書が得られている場合）（任意の書式）
<input type="checkbox"/>	⑥データ CD 等※必須 上記応募資料一式のデータを取めた CD （①の応募用紙については、Ms Word ファイル 及び PDF ファイルの 2 種をお願いします）

※上記以外の添付資料で応募内容を補足説明する必要がある場合は、必要最小限の資料を添付して下さい。（A3 または A4 判の資料 2 枚までとして下さい）

※応募資料は返却いたしませんので、お手元に控えをお残しください。

造園CPD登録希望用紙※造園CPD会員対象

(造園CPD登録希望の方のみご記入ください)

応募団体名	フリガナ:
応募プランの名称	フリガナ:

■造園CPD登録希望 * 造園CPDプログラムによる認定を申請中です。

登録希望者	責任者/ 担当者 区分	氏名	フリガナ	CPD 会員 ID(会員カード 12桁の数字)	所属

※造園CPD制度とは？

CPD=Continuing Professional Development (継続的専門能力開発=継続教育)を意味しており、造園関連の技術者が日々行っている、自分の技術技能の向上や知識の幅を広げる努力を支援し、その結果について第三者証明を行う制度です。

日本造園学会を中心に、造園連をはじめとする造園関連の26団体で構成する「造園CPD協議会」や「建設系CPD協議会」と連携して運営を行っています。

CPDの実施は、常に技術や知識の向上を目指している技術者を証明するとともに、技術者本人や雇用している企業の客観的評価にもつながるものです